

モニタリングポータルを使用した電圧上昇抑制のチェック方法

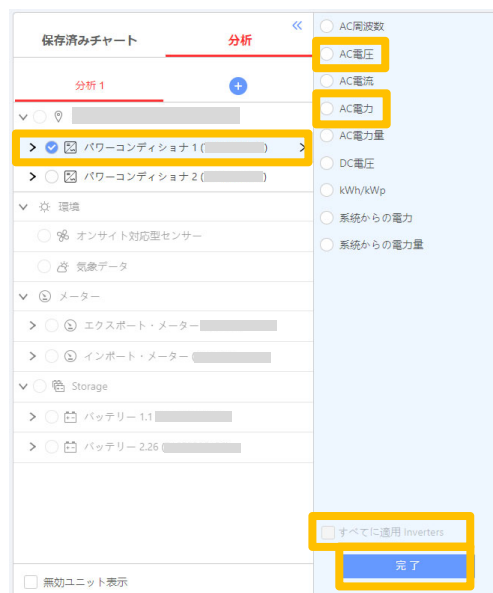
本書類では、モニタリングポータルの分析(チャート)を使用して電圧上昇抑制の影響を受けているかを確認する方法を説明します。

瞬間電力とAC電圧のチャート表示手順

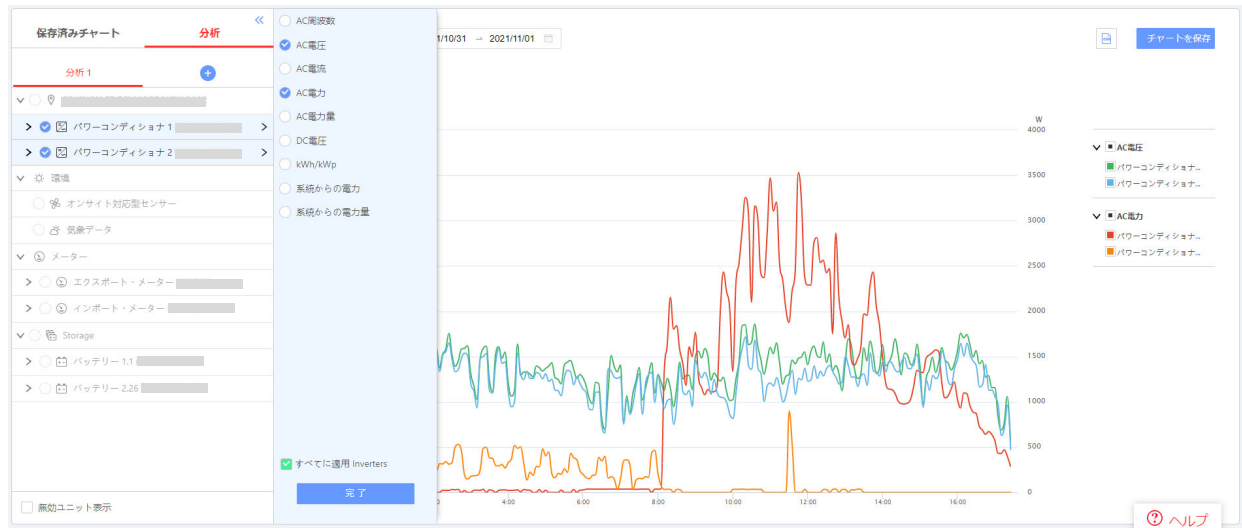
1. モニタリングポータルにログインし、該当の太陽光発電所サイトのページを開く。
2. 分析アイコンをクリックし、分析ウィンドウを表示する。



3. 左のリストからパワーコンディショナを1台選択し、表示される選択項目から、“AC電圧”、“AC電力”を選択し、“口すべてに適用Inverters”にチェックを入れ（全てのPCSが選択される）、“完了”ボタンをクリックする。



選択した状態

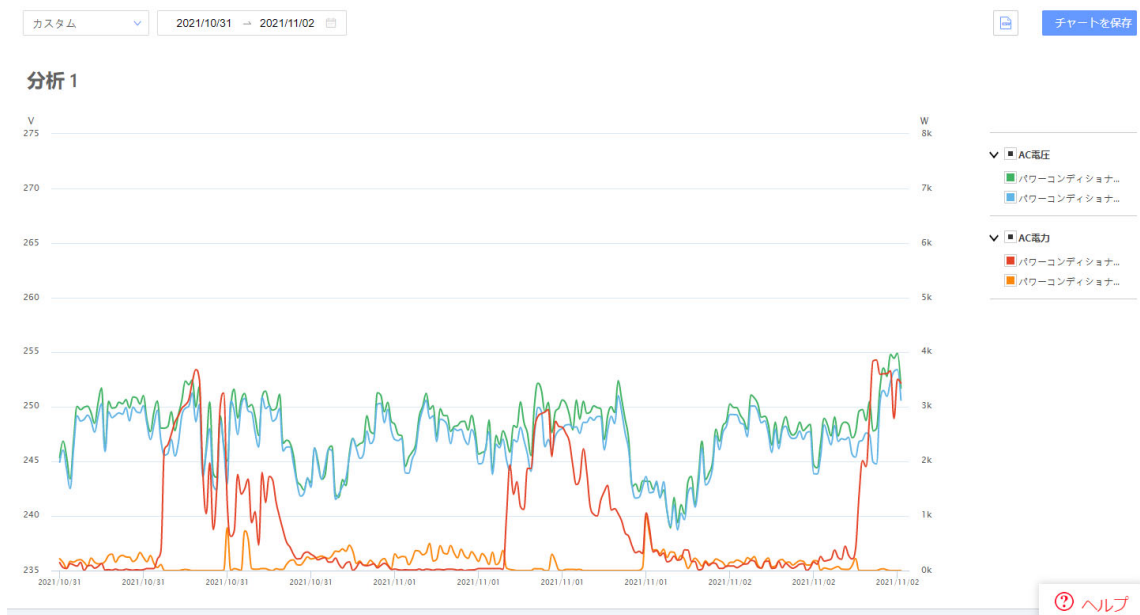


4. 調べたい期間を選択する。

今日 2021/11/01 → 2021/11/02

- 今日
- 直近1週
- 直近1月
- 直近1年
- すべて
- カスタム

期間が選択され、チャートが表示された状態



瞬間電力とAC電圧のチャート表示手順

AC電圧が上昇抑制開始電圧 (AVR値) より上回っている時間帯に、PCSの瞬間電力が下がっているかを確認する。



注記

管理されているサイトのAVR値は、電力会社からの系統連系保護整定値回答書等をご参考下さい。

以下参考チャートにて、実際に電圧上昇抑制がかかっている時のチャートの見え方の例をご確認ください。

参考サイト情報：SE25K 低圧

PCSのAC定格出力=24.75 kW

電圧上昇抑制開始電圧(AVR値)=242 V

チャートには、瞬間電力とAC電圧(3相)が同時に表示されている。

242V(AVR値)以上の時間帯があり、その時間帯はAC定格出力より出力が低下していることが分かる。

一時的だが248V以上になることがある。AC電圧が高い理由が系統側の電圧が高い可能性あり。

参考チャート

